

【知的財産法】

受験番号		氏名	
<p>AI（人工知能）の進歩・発展によって現在すでに生じている、又は今後新たに生じると予想される知的財産法制に係る課題を一つ取り上げて、それについて論じなさい。</p> <p><出題意図></p> <p>AIの発展が知的財産法制に与える影響について考察することを目的とした出題である。近年、AIの生成するコンテンツやAIを何らかの形で利用した発明が増加し、それに伴い著作権法や特許法などの枠組みを従来通り維持できるかが問題となっている。著作権法との関係では、機械学習段階の複製等の適法性、生成物と既存の著作物等との類似性・依拠性等、生成物の著作権等による保護の可能性について議論がある。特許法との関係ではAIを発明者として記載して行う出願の適法性や、AI生成発明を社内で業として実施している場合に先使用权により保護されるか等の課題がある。意匠法との関係ではAI生成意匠が公知意匠として、その後の出願の新規性や創作非容易性を失わせるか等が立法的課題として検討されている。これらの課題あるいは今後新たに生じると予想される課題を取り上げて、現行法における扱いを整理するとともに、裁判例がある場合にはそれに触れ、諸外国での先例、立法時における考慮事項などを幅広い視野で取り上げて論じることが求められる。</p>			